

英文監査報告書の実務

～英文の報告書の標準文例と

指摘・改善提案の事例、知っておきたいビジネス英語

「内部監査実務マスター・コース」〔第7回開催分（全9会合）〕

●日時 ● 2018年3月13日（火）14:00～17:00

●会場 ● 東京・麹町 企業研究会『セミナールーム』

●講師 ● 藤井 範彰氏 公認会計士・公認内部監査人・米国公認会計士（現在 inactive）

大手監査法人で20年近く会計監査に従事し、その間、法人内の会計監査アプローチの普及・研修活動や公認会計士協会本部の委員会活動にも専念。その後十余年は、アンダーセン、PwC及びE&Yの監査法人で内部監査、内部統制、リスク管理、不正調査等に特化。新日本監査法人シニアパートナーを2012年に退任後はボルボグループで日本の内部監査統括の経験も経て、現在も同グループ会社UDトラックスの監査役として監査に従事。また藤井範彰公認会計士事務所代表として内部監査等の研修・執筆活動にも従事。著書「内部監査のプロが書く監査報告書の指摘事項と改善提案」2016年同文館出版、「内部監査の課題解決法 20」2012年税務経理協会、論文「内部監査報告書の本質論と実務対応～監査の指摘事項と改善提案をめぐる問題」日本内部監査協会「月刊監査研究」2017年5月号、「海外監査の検討課題～成熟度レベルに応じた問題認識と対応」同2013年11月号、「リスクマネジメントに対する内部監査の対応～最適化シナリオに向けて」同2012年3月号掲載、他多数。

●プログラム●

■講義／英文監査報告書の実務 <14:00-16:30>

海外監査を完結させるのは監査人が自ら書いた英文レポートです。たびたび海外の監査に出かけていても英語で監査報告書を書くのは自信が持てない内部監査人は少なくなく、報告書作成の外部委託も見られます。その背景には参考となる事例や文献が少なく実務研修の機会がないなどの事情があります。英文報告書は海外監査に残された最後の課題のようでもあります。それと同時に、英文も含めて報告書の作成までが内部監査人の仕事です。そこで今回は英文内部監査報告書の様式や指摘・改善提案の文例を挙げて事例を解説しながら留意点を説明いたします。また監査プロフェッショナルとして知っておきたいビジネス英語の流儀や日本的な習慣や思考体系から書いた英文が海外で意図したように伝わらないといった例も併せて時間の許す限り紹介します。

1. 英文内部監査報告書の様式と標準文例

・英文監査報告書の書式、構成および記載項目の考え方

2. 指摘事項、改善提案の英文事例の検討

・指摘、改善提案の英文事例によるロジックと文章表現

3. 監査プロフェッショナルとして知っておきたいビジネス英語の流儀

・英訳すると通じにくい日本語の慣用表現、監査人が留意すべきビジネス英語のポイント例

■講義をベースとしたディスカッション&総括コメント <16:30-17:00>

～自由討議・意見交換の中から課題解決のノウハウ、ヒントを探り実践に繋げていただきます～

●参加要領●

●受講料：1名（資料代含む）

正会員	31,320円	一般	34,560円
-----	---------	----	---------

[本体価格 29,000円 本体価格 32,000円]

* 会員企業一覧は以下の当会のホームページにて、ご確認いただけます。http://www.bri.or.jp

申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あて FAX または E-mailにてお送りください。

折り返し、受講票・会場略図・請求書をお送り致します。

※お申込後のキャンセルは原則としてお受けしかねますので、お申込者のご出席頂けない際は、代理の方のご出席をお願い申し上げます。

●申込先（社）企業研究会

担当）居代 E-mail:ishiro@bri.or.jp

〒102-0083 千代田区麹町 5-7-2

TEL 03-5215-3516/FAX 03-5215-0951～2

170188	2018 3/13 内部監査実務マスター・コース		
会社名			
住所	〒		
TEL	FAX		
部課 役職		フリガナ お名前	
e-mail			
部課 役職		フリガナ お名前	
e-mail			